

教育委員会会議録〔詳細〕は、市役所1号館2階の市政資料室で公開しています。

.....

佐倉市教育委員会会議録〔会議概要〕

令和7年1月教育委員会会議：定例会

期 日 令和7年1月15日（水） 開会 午後2時00分
閉会 午後2時20分

会 場 1号館3階会議室

出席委員 圓城寺一雄 教育長 吉村真理子 教育長職務代理者
菅谷 義範 委員 柴内 靖 委員

傍聴者 1名

出席職員	教 育 長	圓城寺一雄(再掲)	教 育 部 長	緑川 義徳
	教育部参事(学務課長事務取扱)	村上 武宏	教育部参事(指導課長事務取扱)	榎本 泰之
	教育総務課長	宮崎由美子	教育センター所長	神成 裕尊
	社会教育課長	舎人 樹央	佐倉図書館長	利光 尚
事務局	教育総務課教育総務班長	千々岩和代	教育総務課教育総務班	小高 純

〈 会議概要 〉

1 教育長開会宣言

2 報告事項

① 教育長より2件報告

諸般の報告を2点申し上げる。冬季休業後の児童生徒の状況、令和7年佐倉市成人式について。

まず、1つ目の冬季休業後の児童生徒の状況について、今年は14日間の休業があったが、1月7日に学校は予定どおり全校集会を行い、新しい年をスタートすることができた。子どもたちは、元気に登校している。年度のまとめの時期を迎えたので、子どもたちの成長の姿を実感するとともに、この1年間の指導の成果を評価する中で、改善に向けた方策を明確にして次年度へつなげていきたいと考えている。

2つ目は、1月13日に佐倉ハーモニーホールで開催された令和7年佐倉市成人式について。式典には、吉村教育長職務代理者にも出席いただいた。式

典は、昨年同様市内を3地区に分けて式典を3回実施した。例年のように、10名の成人式運営委員の皆さんが、事前の準備段階から当日運営、進行まで担う形で開催された。自分たちの門出である成人式をよりよい式にしていきたいという熱意が感じられた。多くの若者が清新な決意とともに新たな一歩を踏み出す成人式であったと思う。参考までに、今回の対象者人数としては1,641名であった。参加者については、そのうち1,226名ということで、参加率は74.7%であった。

② いじめの状況について【指導課長】

いじめの状況について報告する。12月末日のいじめの認知件数は、小学校が407件、中学校が299件の合計706件。12月の新たな認知件数は、小学校が24件、中学校が21件で、合計45件だった。今月は、校長会議、来月には教頭会議、生徒指導担当者会議があるので、それらの会議で子どもたちの状況を多面的に捉え、常に把握すること、相談しやすい環境を整えることの重要性を伝え、いじめの早期発見、即日対応に努めるよう指示していく。

④ 感染症の状況について【指導課長】

感染症について12月14日から1月10日までの状況を報告する。インフルエンザが772名、新型コロナウイルス感染症が31名、マイコプラズマ肺炎12名、水痘10名、溶連菌感染症が5名、感染性胃腸炎、流行性角結膜炎がそれぞれ3名となっている。インフルエンザによる閉鎖措置は、12月3週から2学期最終日まで、小学校8校、中学校1校で学級閉鎖、また小学校2校で学年閉鎖があった。全国的にインフルエンザが流行しているが、佐倉市内でも年明けから連日100名以上のインフルエンザ罹患者の報告がある。1月第2週は、小学校1校で学級閉鎖があり、今週に入って中学校1校で学年閉鎖となっている。3学期に入ると、卒業性を送る会や卒業式の練習などで集団による合唱練習なども入ってくるので、基本的な感染症予防対策を講じるよう、引き続き指示していく。

《委員から報告》

感染症の追加報告をする。

先週、令和7年の第2週ということで、インフルエンザが定点当たり47.71、これは1月6日から1月12日である。その前の週、12月30日から1月5日、令和7年の第1週だが、このときは学校がお休みということもあり、定点当たり19.79だった。つまり、学校が始まって大体2倍ちょっとになる。その前が12月23日から12月29日、令和6年の第52週になるが、インフルエンザ定点当たりが83.67まで上がっている。これが今のところピークということだが、今週は先週の47.71からまた上がっているだろうと思うので、来週の結果を見てみたいと思う。

あと新型コロナウイルス感染症について、第2週、1月6日から1月12日、定点当たり10.38あるので、かなりの数である。その前の週、年末年始だが、4.21なので、こちらも2.5倍ぐらいになる。もう一つ前の週、12月23日から12月29日、令和6年の第52週は9.88なので、先週のコロナの感染症の数と大体一緒になる。これもこれから増える可能性があるので、十分注意し

ていただきたい。ワクチン接種をしていますが、かかっているが、ただ重症化はしないということで、これからでも遅くはないので、ワクチン接種していない方はされておいたほうがいいだろうと思う。

予防は、基本的に一緒。手洗いとマスクの着用、それからうがいと、感染者に接触しないようにということ。あとは、一般的な注意なので、やはり室内の乾燥に注意してほしい。湿気を十分に取れるように加湿器等は準備しておいたほうがいいと思う。先ほど年度末の行事があるということで、みんなが集まる機会が増えてくるので、注意をしていただかないといけないだろう。ただ感染予防をきちっと守っていただければ、そんなに広がらないだろうと思う。ちなみに、今インフルエンザB型はちらほら出ているが、ほとんどはA型である。

それから、感染性胃腸炎が第2週、先週定点当たりこれも9.56、その前の週の年末年始は0.69だったので、10倍近い急増ということだが、こちらも気をつけていただくということである。こちらについては、吐いたものとか下痢の始末をきちっとしてほしい。それと、これまた手洗い。吐いたのがお手洗いだったらお手洗いの周辺の消毒でいいのだが、室内で吐いてしまった場合は、必ず次亜塩素酸ナトリウムの液を使って、手袋して、できればガウンまで着用して室内をちゃんと清掃していただければ、これは乾燥すると室内を飛んでくるので、その辺の注意があるため、きちっと処理をしてくださいということである。数は定点当たり9.56なのでインフルエンザと比べると圧倒的に少ないのだが、感染力が強いので、こちらも気をつけていただきたいと思う。

3 議決事項

議案第1号 佐倉市立図書館協議会委員の委嘱について

佐倉図書館長より上程議案の説明

内容：議案第1号については、佐倉市立図書館協議会委員が今月末で2年の任期満了となることに伴い、新たに委嘱を行うものである。

資料1ページ。候補者の一覧である。佐倉市立図書館の設置及び管理に関する条例第8条では、委嘱の基準及び定数を規定しており、委員は市民、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験がある者の中から教育委員会が任命する。定数は10人以内となっており、委員の構成については佐倉市立図書館の管理運営に関する規則第19条に基づき、市民3人、学校教育及び社会教育の関係者3人、家庭教育の向上に資する活動を行う者2人、学識経験のある者2人となっている。これらの規定を踏まえて、今回候補者10名を選出した。このうち市民公募者は3人。また、再任の方が6人で、新任が4人となっている。

名簿の順に、1番と2番の方は、小学校、中学校の学校教育関係者。3番の方は、社会教育の関係者。4番と5番の方は、家庭教育の向上に資する活動を行っている団体からの推薦者。佐倉地域文庫連絡会は、地域の集会所等で子どもの本の貸出しやおはなし会を行っている文庫の連絡会となっており、情報公開や勉強会、おはなし会等を実施している団体である。また、おはなしきゃらばんについては、人形劇や大型紙芝居などを通じ、本への興味を持

ってもらっている活動をしている団体である。6番と7番の方は、学校教育の経験が豊富な方、また短期大学の教諭をされている方などの学識経験者。8番から10番までの3人が市民公募の方となっている。今回3人を公募したところ、5人の応募があった。選考委員会において申込書及び小論文「これからの図書館に求められること」について選定基準に基づき審査した結果、この3人を候補者とした。

委嘱期間については、令和7年2月1日から令和9年1月31日までの2年間。

次のページは、候補者の略歴。

また、3ページ目は、委嘱状の案を、それから4ページ目からは佐倉市立図書館の設置及び管理に関する条例等を添付している。

《議決事項についての質疑概要》

【委員1名より】

4番と5番の方、これは新任の方お二人ということだが、それぞれ前任の方と同じ所属の団体か。

【佐倉図書館長】

委員おっしゃるとおりである。地域文庫連絡会とおはなしきゃらばんの後任の方である。

【委員1名より】

この団体の推薦ということなので、まず間違いないと思うが、特に公募の方のように何か自分の展望とか意見とか、そういうことは求めないのか。

【佐倉図書館長】

こちらから伺ってはいない。推薦依頼を行って、団体からの回答でということになっている。

【委員1名より】

推薦だけの方は、どういう方なのか、はっきりしないなというところがあるので、できればもうちょっと詳しいことが分かると、いいと思う。

【佐倉図書館長】

以後、いただいた意見を基に対応していけるようにしたい。

【委員1名より】

学校教育関係者についても、田中校長、それから松丸校長については2年間やって、さらに翌年度また推薦で選ばれてきたということか。

【佐倉図書館長】

田中校長、松丸校長については、令和5年の4月から校長会の推薦でやっていただいております、引き続きということで推薦をいただいて、今回また新たな任期をお願いするというような形になっている。

【委員1名より】

新任のケースについては、ただ推薦だけではなくて、どういう考えを持っているのか、どういう方向性を考えているのかって、何かあったほうがいい。図書館を運営していく上で新しい方向性だとか、今回公募の関係でも高齢者だったり幼児に対して対応できるような新しい施設が必要なのではないかって前向きな意見が結構書いてあったりするので、もう少し推薦

に値する部分で何か出していただいたほうがいいように思う。

【佐倉図書館長】

これから考慮してまいりたい。また、実際の協議会があるときについては、事前に説明などを行う中で、新任の委員の方にも意見をいただけるように、こちらも努めていく。

《議決結果》

可決

4 教育長閉会宣言